

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成26年6月19日(2014.6.19)

【公開番号】特開2012-250353(P2012-250353A)

【公開日】平成24年12月20日(2012.12.20)

【年通号数】公開・登録公報2012-054

【出願番号】特願2011-122102(P2011-122102)

【国際特許分類】

| | | |
|---------|-------|-----------|
| B 3 2 B | 27/30 | (2006.01) |
| B 3 2 B | 27/00 | (2006.01) |
| C 0 9 D | 4/02 | (2006.01) |
| C 0 9 D | 7/12 | (2006.01) |
| C 0 9 D | 5/00 | (2006.01) |
| C 0 9 D | 5/16 | (2006.01) |
| C 0 8 J | 7/18 | (2006.01) |

【F I】

| | | |
|---------|-------|-------|
| B 3 2 B | 27/30 | A |
| B 3 2 B | 27/00 | L |
| C 0 9 D | 4/02 | |
| C 0 9 D | 7/12 | |
| C 0 9 D | 5/00 | Z |
| C 0 9 D | 5/16 | |
| C 0 8 J | 7/18 | C F D |

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月1日(2014.5.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

四官能以上の(メタ)アクリレート(A1)、パーフルオロポリエーテル(メタ)アクリレート(B1)、有機溶剤(C1)及び光重合開始剤(D1)を含有する紫外線硬化性組成物(1)をフィルム基材の上に塗布して、塗膜中の有機溶剤(C1)を揮発させた後に紫外線を照射することにより硬化させて得られる0.2~1.5μmの膜厚の離型層がフィルム基材上に形成された離型フィルム。

【請求項2】

紫外線硬化性組成物(1)中のパーフルオロポリエーテル(メタ)アクリレート(B1)の含有量が四官能以上の(メタ)アクリレート(A1)100質量部に対して2~4質量部である請求項1に記載の離型フィルム。

【請求項3】

フィルム基材が易接着層を有するポリエチレンテレフタレートフィルムである請求項1又は2に記載の離型フィルム

【請求項4】

下記(イ)~(ハ)の工程を有する、樹脂基材の表面にパーフルオロポリエーテル(メタ)アクリレート(B-2)を含む活性エネルギー線硬化性組成物(2)の硬化被膜が積層された樹脂積層体の製造方法。

(イ) 四官能以上の(メタ)アクリレート(A1)、パーフルオロポリエーテル(メタ)アクリレート(B1)、有機溶剤(C1)及び光重合開始剤(D1)を含有する紫外線硬化性組成物(1)をフィルム基材の上に塗布して、塗膜中の有機溶剤(C1)を揮発させた後に紫外線を照射することにより硬化させて得られる0.2~1.5μmの膜厚の離型層がフィルム基材上に形成された離型フィルムの離型層の面と樹脂基材とを、パーフルオロポリエーテル(メタ)アクリレート(B2)を含む活性エネルギー線硬化性組成物(2)の塗膜を介して、積層して得られる活性エネルギー線硬化性組成物(2)の塗膜含有積層体形成工程

(ロ) 活性エネルギー線硬化性組成物(2)の塗膜含有積層体に活性エネルギー線を照射して活性エネルギー線硬化性組成物(2)の硬化被膜を形成させる活性エネルギー線硬化性組成物(2)の硬化被膜含有積層体形成工程

(ハ) 活性エネルギー線硬化性組成物(2)の硬化被膜含有積層体から離型フィルムを剥離する剥離工程

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明の要旨とするところは、四官能以上の(メタ)アクリレート(A1)、パーフルオロポリエーテル(メタ)アクリレート(B1)、有機溶剤(C1)及び光重合開始剤(D1)を含有する紫外線硬化性組成物(1)をフィルム基材の上に塗布して、塗膜中の有機溶剤(C1)を揮発させた後に紫外線を照射することにより硬化させて得られる0.2~1.5μmの離型層がフィルム基材上に形成された離型フィルムを第1の発明とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、本発明の要旨とするところは、下記(イ)~(ハ)の工程を有する、樹脂基材の表面にパーフルオロポリエーテル(メタ)アクリレート(B2)を含む活性エネルギー線硬化性組成物(2)の硬化被膜が積層された樹脂積層体の製造方法を第2の発明とする。

(イ) 四官能以上の(メタ)アクリレート(A1)、パーフルオロポリエーテル(メタ)アクリレート(B1)、有機溶剤(C1)及び光重合開始剤(D1)を含有する紫外線硬化性組成物(1)をフィルム基材の上に塗布して、塗膜中の有機溶剤(C1)を揮発させた後に紫外線を照射することにより硬化させて得られる0.2~1.5μmの膜厚の離型層がフィルム基材上に形成された離型フィルムの離型層の面と樹脂基材とを、パーフルオロポリエーテル(メタ)アクリレート(B2)を含む活性エネルギー線硬化性組成物(2)の塗膜を介して、積層して得られる活性エネルギー線硬化性組成物(2)の塗膜含有積層体形成工程

(ロ) 活性エネルギー線硬化性組成物(2)の塗膜含有積層体に活性エネルギー線を照射して活性エネルギー線硬化性組成物(2)の硬化被膜を形成させる活性エネルギー線硬化性組成物(2)の硬化被膜含有積層体形成工程

(ハ) 活性エネルギー線硬化性組成物(2)の硬化被膜含有積層体から離型フィルムを剥離する剥離工程